

授業概要

日本経済の段階的発展過程を戦時期から現在まで、いくつかの時期に区分して、またこれまでに習得した経済学の基礎知識を具体的に応用しながら分析する。講義で力点を置く時期は戦時期、混乱期、復興期、高度成長期である。安定成長期から現在までの詳しい内容は「経済政策論」で講義するので、できれば併せて受講してほしい。

授業計画

第1回	講義の目的と構成
第2回	アジア・太平洋戦争への途
第3回	戦時期（1）
第4回	戦時期（2）
第5回	戦時期（3）
第6回	戦後混乱期（1）
第7回	戦後混乱期（2）
第8回	戦後混乱期（3）
第9回	戦後混乱期（4）
第10回	戦後復興期（1）
第11回	戦後復興期（2）
第12回	高度成長期（1）
第13回	高度成長期（2）
第14回	安定成長への構造調整期からバブルとその崩壊期
第15回	日本経済の現状—機能不全とその克服策
第16回	定期試験

到達目標

- ・日本経済の段階的な発展過程を説明できる。
- ・日本経済のダイナミックな構造変化と動態を示す統計の所在とその読み取り方を修得する。

履修上の注意

- ・シラバス（授業計画）および統計を配布するので、毎週必ず持参すること。また一度しか配布しないので注意して下さい。
- ・シラバスには授業内容の概要しか記載されていないので、しっかりノートをとること。
- ・講義の最後に出席調査を兼ねて、その日の講義内容をまとめてもらいます。
- ・やむをえない場合を除き、欠席・遅刻は認めない。また授業中のおしゃべりとスマホは厳禁です。

予習復習

- ・シラバスとノートを利用して復習してください。
- ・特に統計の所在とその読み取り方を復習して下さい。

評価方法

- ・講義のなかで小テストをする。
- ・小テストと期末試験を総合的に判定して成績を評価する。

テキスト

- ・テキストは指定しないが、関連する資料を配付する。